



徳川
 本甲
 城軍
 記二
 編
 十二

2258
 24



池清

池田屋
清次郎

23

甲越



繪本甲越軍記二編卷之十二

二編
卷第十二 目錄

板垣駿河守大守儀と武田

原義隆寺理仙樂若寺成田

上田原合戦之本

曲洞三科廣瀬と原田本松野と合戦の圖

板垣駿河守討死の圖

村上義清高田行三と旗本と切込の本

村中義清武田行三と大石の圖

八達 13
22+8
24

村上義清義清長尾孫行孫行村上義清義清長尾孫行孫行村上義清義清長尾孫行孫行

山平助助小幡成林成林正原正原正原平左衛門平左衛門山平助助小幡成林成林正原正原正原平左衛門平左衛門



繪本甲斐軍記二編卷之十二

板垣駿河守大内宿禰大内宿禰武田大内宿禰大内宿禰

武田大内宿禰大内宿禰去年村上義清義清と小懸那小懸那名石名石の合戦合戦甲斐軍記二編卷之十二

武田大内宿禰大内宿禰去年村上義清義清と小懸那小懸那名石名石の合戦合戦甲斐軍記二編卷之十二

武田大内宿禰大内宿禰去年村上義清義清と小懸那小懸那名石名石の合戦合戦甲斐軍記二編卷之十二

武田大内宿禰大内宿禰去年村上義清義清と小懸那小懸那名石名石の合戦合戦甲斐軍記二編卷之十二

武田大内宿禰大内宿禰去年村上義清義清と小懸那小懸那名石名石の合戦合戦甲斐軍記二編卷之十二

武田大内宿禰大内宿禰去年村上義清義清と小懸那小懸那名石名石の合戦合戦甲斐軍記二編卷之十二

武田大内宿禰大内宿禰去年村上義清義清と小懸那小懸那名石名石の合戦合戦甲斐軍記二編卷之十二

武田大内宿禰大内宿禰去年村上義清義清と小懸那小懸那名石名石の合戦合戦甲斐軍記二編卷之十二

武田大内宿禰大内宿禰去年村上義清義清と小懸那小懸那名石名石の合戦合戦甲斐軍記二編卷之十二



繪本甲斐軍記二編卷之十二



原美濃守の
埋伏
樂岩寺
戦圖



源平物語卷之三



松北の
合戦の
図

徳川家康
と
後北條氏
の
合戦



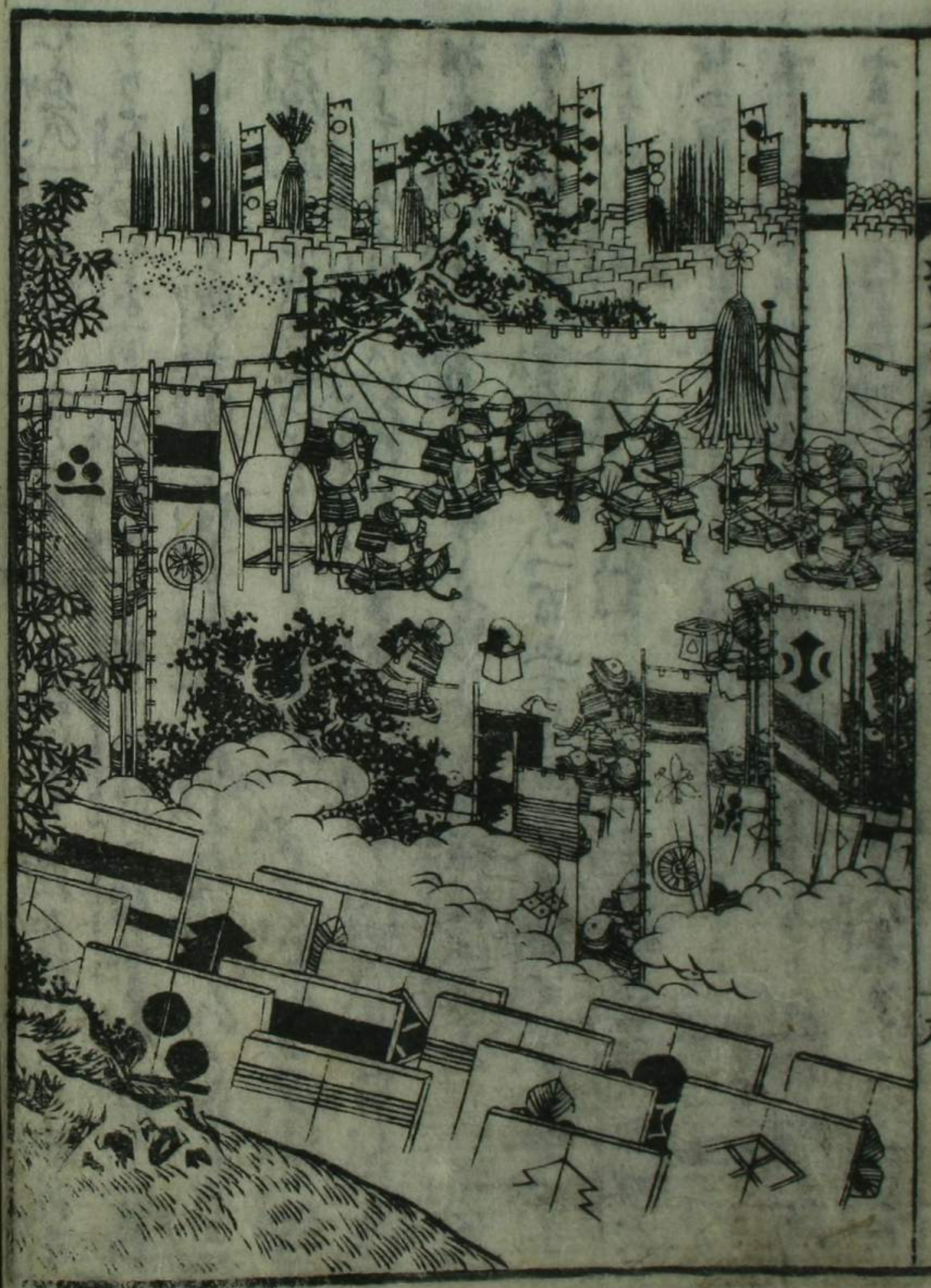
曲淵
三科
廣瀬
原田八木

徳川家康
と
後北條氏
の
合戦

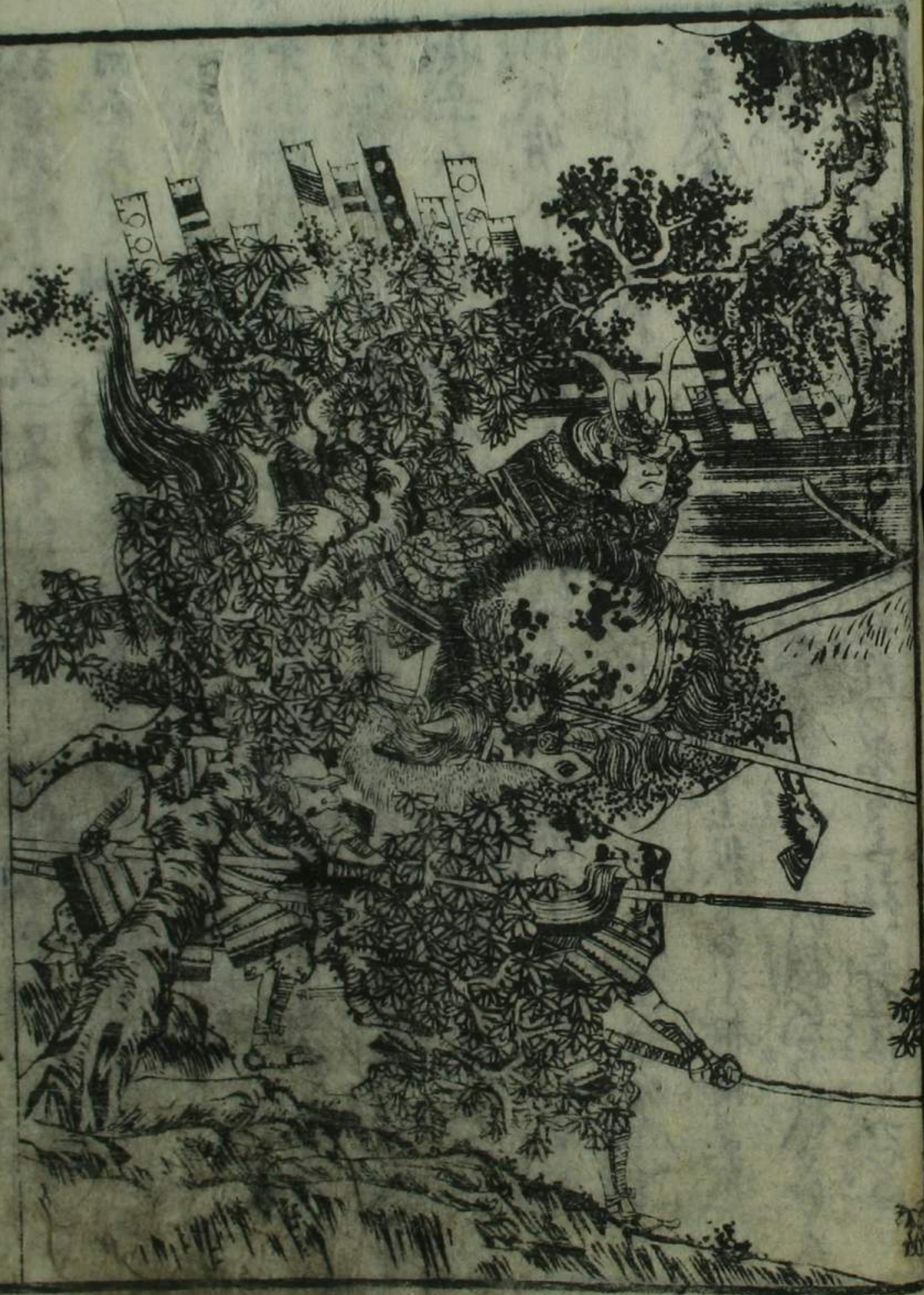
繪本甲斐軍記三編卷十一



板垣
 法
 村河守
 の家



繪本甲斐軍記三編卷十一



村上義清
武内信玄
太刀打
の圖

加勢と秋て後... 小宛竟の歩... 半小隠心... 持せ秋るの... 将兵十人... 御代陣... 逾一せ下... 為主兵全... 大ま小... 見一夫心...

金

持る小... 眼小... 村と... ぬま... 大... 後... 凡... 抑...

旗 旗

村と義清討後小室と長尾謙信の戦い

去程ふねと義清を上田原の合戦は防虎と討て半信を討つに於
 軍小及び昭政死立切し居謀り降ら半信を討つに遠く東京古
 市より誠法経を拂り府内の城小あり長尾謙信忠景虎と對面
 して云々内義清十ヶ年以來武田と戦ひと極む去程二十日正田原
 の一戦必ま時侯は近信自度及防虎と交せん時侯は近信が旗
 小切及方る瓜能合を打と付とも半信互に遠め小室の故
 すに寄合とら又他より内信侯が近信其がるの卒首と云
 かりら角且其某居りして鼻を打眼暗して討せんときりと
 願の居助来り半信は争り引退し不暗侯が障り等取給と遊
 居謀り尾入るも人信は後指切んとぬれども死を安くせむ

半信は去程と義清と上田原の合戦は防虎と討て半信を討つに於
 軍小及び昭政死立切し居謀り降ら半信を討つに遠く東京古
 市より誠法経を拂り府内の城小あり長尾謙信忠景虎と對面
 して云々内義清十ヶ年以來武田と戦ひと極む去程二十日正田原
 の一戦必ま時侯は近信自度及防虎と交せん時侯は近信が旗
 小切及方る瓜能合を打と付とも半信互に遠め小室の故
 すに寄合とら又他より内信侯が近信其がるの卒首と云
 かりら角且其某居りして鼻を打眼暗して討せんときりと
 願の居助来り半信は争り引退し不暗侯が障り等取給と遊
 居謀り尾入るも人信は後指切んとぬれども死を安くせむ

甲越



會本甲越軍記三編卷三十一

村上義清
 雙と報
 ちん
 鎌信小
 頼し圖



會本甲越軍記三編卷三十一

武名成四海を輝く一各代後代強んじし
 期ある事の事代ねと思ふの一言致し
 此と之時信と一致して追付る代更科
 軍立ち如何なりや村と親情故首して
 武名成四海を輝く一各代後代強んじし
 期ある事の事代ねと思ふの一言致し
 此と之時信と一致して追付る代更科
 軍立ち如何なりや村と親情故首して
 武名成四海を輝く一各代後代強んじし
 期ある事の事代ねと思ふの一言致し
 此と之時信と一致して追付る代更科
 軍立ち如何なりや村と親情故首して

駿河守 柿崎和泉守 安田上総介 其外宇佐兵衛 徳川
 秋後の勇将との事一其勢をよ約結十月九日府内と首逆者
 て信長と押ゆ 秋國と殺火一勢ひ大なりて民を収服し
 とか一信長をよ者も恩以て懐け運兵と結小斗に其くが
 城は引籠者々々も揃ふといふ事方又信長と其の法なり
 山平助助信候の事
 信長は長尾重虎村と親交はれしに長尾重虎は
 かり子くは深谷の事なり 由 甲州小幡の事なり
 二月甲辰八月二十日に信長をよと結し十九日海井平一
 戦と交んと海井平一押ゆ 山平助助小幡織越に交る候事

山本勘助
 小幡徹正
 原美濃守の軍
 舟の候とらみ



繪本甲越軍記二編卷十二



繪本甲越軍記二編卷十二

十五

文化十年癸酉四月

浪華書肆

敦賀屋九兵衛
秋田屋太右衛門
播磨屋本三郎
河内屋長兵衛
河内屋茂兵衛

京都書肆

伏見屋半三郎

書林

京都寺町通佛光寺	河内屋藤四郎
平戶日本橋通壹丁目	須原屋茂兵衛
同 貳丁目	山城屋佐兵衛
同 貳丁目	須原屋新兵衛
同 四日市	山城屋政吉
同 本石町十軒店	英 大助
同 下谷御成道	英 艾藏
同 大傳馬町貳丁目	丁子屋平兵衛
同 芝神明前	岡田屋嘉七
大阪南船場通本町角	河内屋藤兵衛
大阪南船場通本町角	河内屋茂兵衛

